

令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

○6月27日(火) 15:30~17:00 場所:会議室

出席者 協議委員:山下 中上 森(和) 廣野 中尾

事務局:浅田 高田 藤岡峻 荒木

次 第

- 1 校長挨拶
- 2 協議会委員・事務局紹介と資料確認
- 3 会長選出 → 山下委員を会長に選出 中上委員を副委員長に選出した
- 4 協議

(1) 令和5年度学校経営計画及び令和4年度学校評価報告書について

(2) GLHSの取組について

・(1)(2)をまとめて

R4年度の学校評価については、特に学校教育自己診断について、注目している。R3と比較してほとんどすべての値が上昇しており、喜ばしく思っている。1つ、教育相談に関する数値がやや低下しており、この変容の理由については分析中であり、委員の方のご意見をいただきたい。教育相談委員会は、R3年度から構成委員を変更し各学年主任を加えた上、校長室で行うことで情報伝達の手速を飛躍的に向上させ、教員の対応体制を整えてきた。

→ 上昇している数値の理由には何が考えられるか。

・これまでの取組みの結果の現れたとも考えられるが、コロナ禍があったため一概に評価できない。各行事が開催されることで、学校を楽しく過ごす生徒が増えてきたことも要因の一つだと考えられる。

→ アンケート結果がこのように高い肯定的数値である学校に通わせることは親として安心できる。

→ 教育相談についての具体的な質問項目はどのようなものか。

・「担任の先生以外にも相談できる先生がいる」だと思うが、後日資料で確認する。

→ 相談したくてもできない生徒の数値が問題であって、相談することがない場合は答えようがないと思う。心配のいらぬ生徒まで含まれているのではないか。相談したい生徒が相談できているかを測定できる表現の方が好ましいのではないか。

・スクールカウンセラーに相談する生徒や保護者が増加傾向にある。予約が取れないこともあり、それが数値に反映されている可能性もある。

→ いじめの対応についてはどのような体制をとっているか。

- ・保護者からいじめとされるお手紙をいただいたときには、即日校長から全生徒に向けて改めていじめ防止について話をした。また、アンケートによる調査も同時に行った。

通常時は、年間3回のアンケートと情報共有の会を設けている。教育相談に関しても各学年10～20名の欠席増加生徒や気になる生徒の情報交換を行っているところである。

- ・質問項目については後日を確認して、見直したい。

(R4 項目「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」と後日確認)

- ・R5年度はR4年度分をより実情に合わせた微修正であり、大きな変更点はない。

R5年度入試結果を見ていただきたいが、GLHS10校の中でも浪人生が多い。これは、不合格であったことは残念だが、第一志望への意思の強さの表れであると受け止め、悲観的に捉えるのではなく、前向きに捉えている。国公立大学の数値については、本校進路指導の分析力の向上や指導体制が整ってきたことの現れだと考えている。特に地方の国公立大学にも積極的に受験させている。この方針で引き続き取り組んでいきたいと思うのでR5年度の学校経営計画について承認をいただきたい。

→ 承認する。

(3) SSHの取組について

- ・第Ⅲ期の中間ヒアリングの結果を踏まえ、改善を始めている。現在は研究発表を行うスタンダードと発表を必須としないゼミというグループで構成している。また学際的な研究も一部始まっているが、これまでの教科の探究の枠組みを再編して、全員が探究活動を行い、より充実したものになりたいと考えている。特に、質問をしない生徒を活性化させ、疑問に対して研究を積み重ねる探究を行うことでより一層能動的な学習へ切り替えていきたい。校外での施設見学等を本校ではミラクルチャレンジと呼んでいるが、この企画数を増やし、参加者を増加させることで探究活動への動機付けとしたい。生徒たちは部活動に懸命に取り組んでいることから、参加させるには一定の強制力も必要だと考えている。次年度は第Ⅲ期の最終年度になるので、しっかりと取り組んでいきたい。

→ 引き続きよろしくお願ひしたい。

(4) 来年度の教科書選定について

- ・教科書選定については、学校運営協議会という外部の視点でこのような教科書が選定されているかご覧いただきたい。進学者の多い学校では使用している教科書は大きく変わらないが、一度ご確認をお願いしたい。

→ こちらの教科書で問題ない。(承認)

(5) 今後の生野高校のあり方について

・あり方にも関係しているが、登下校の交通に関する苦情を度々いただいている。指導にあたる勤務時間の問題、勤務内容の増加の問題もあり学校だけでは解決は難しいと考えている。何か良いお知恵があればお伺いしたい。

→ 大人でも退勤の際に道をふさいでいるとの苦情を会社にいただくこともあり、これといった解決は難しい。

→ 学校でももちろん指導は必要であるが、指導によってすべてが解決されるわけでもない。

・実際、接触事故も発生しており、引き続き指導を行っていきたい。

・近隣住民の方との関係性がこの問題の解決につながるとの見方もある。地域に根差した学校でありたいと思うが、何か方法はないか。

→ 会社でも地域清掃などの地域貢献の活動を行っているが、苦情の電話は収まることがない。人が集まれば、一定どうしてもない部分もある。

・様々なご意見ありがとうございます。学校の在り方を含め、本日のぜひご意見を参考にしたいと思う。

5 事務連絡

次回予定 11月6日(月)または 11月9日(木) 15:30 ~ 17:00

(資料)

- 1 大阪府立生野高等学校学校運営協議会実施要項と委員名簿
- 2 令和5年度学校経営計画および令和4年度学校評価報告書
- 3 令和5年度入試結果
- 4 令和5年度SSH実施計画書
- 5 令和5年度使用教科用図書選定報告書